

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

車両運搬具、什器備品・・・旧定額法及び定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	479,710,132	74,995	0	479,785,127
定期預金	23,088,806	0	0	23,088,806
小 計	502,798,938	74,995	0	502,873,933
特定資産				
車両取得資金	3,032,148	0	0	3,032,148
小 計	3,032,148	0	0	3,032,148
合 計	505,831,086	74,995	0	505,906,081

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味 財産からの充当 額）	（うち一般正味 財産からの充当 額）	（うち負債に対 応する額）
基本財産				
投資有価証券	479,785,127	(479,785,127)	(0)	
定期預金	23,088,806	(23,088,806)	(0)	
小 計	502,873,933	(502,873,933)	(0)	
特定資産				
車両取得資金	3,032,148	(0)	(3,032,148)	
小 計	3,032,148	(0)	(3,032,148)	
合 計	505,906,081	(502,873,933)	(3,032,148)	

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	2,917,640	2,917,636	4
什器備品	924,000	371,448	552,552
合計	3,841,640	3,289,084	552,556

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
兵庫県公募公債 平成21年度 第1回	99,999,188	100,110,000	110,812
政保日本高速道路保有債務返済機構債 第135回	79,995,243	81,920,000	1,924,757
北海道公募公債 平成23年度 第6回	100,000,000	102,659,000	2,659,000
北海道公募公債 平成23年度 第8回	99,930,242	102,750,000	2,819,758
大阪府公募公債 第373回	99,860,454	103,738,000	3,877,546
合計	479,785,127	491,177,000	11,391,873

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
区補助金	杉並区	198,308	13,597,000	13,795,308	0	-
区障害者通所施設サービス推進事業補助金	杉並区	34,000	3,921,000	3,870,000	85,000	流動負債
区障害福祉サービス事業所交通費等補助金	杉並区	353,800	1,121,036	922,308	155,072	流動資産
合計		121,492	18,639,036	18,587,616	70,072	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額 目的達成による指定解除(基本財産受取利息)	5,584,000